

ヴァイオリン

鈴木
舞木

MAI SUZUKI

©Yukiko Shibuya

アマービレフィルハーモニー管弦楽団 コンチェルトシリーズ vol.21 苦難を乗り越えて

8/22²⁰²⁴ 木 19:00開演
(18:00開場)

茨木市市民総合センター
(クリエイトセンター)センターホール

全席自由

一般 3,500円 楽団会員 3,000円

※消費税込み ※未就学児入場不可

お問い合わせ・チケットご購入

アマービレフィルハーモニー管弦楽団事務局

TEL:072-648-5874(9:00~18:00)

E-MAIL:contact@amabile-philharmonic.com

Web site:https://amabile-phil.com/

公益財団法人茨木市文化振興財団・文化事業係

TEL:072-625-3055(10:00~17:00)

窓口：財団チケットカウンター

(クリエイトセンター1階/福祉文化会館3階)



ツイキャスにて同時生配信!!
配信チケット¥2,000(税込)
ご購入は右記QRコードより



主催：一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団

後援：茨木市／公益財団法人茨木市文化振興財団

公益財団法人関西・大阪21世紀協会

ピアノ

柏本
佳央理

KAORI KASHIMOTO

指揮
松岡 究

HIKARU MATSUKAWA





鈴木 舞 ヴァイオリン

MAI SUZUKI

東京藝術大学附属音楽高校、同大学を卒業。文化庁芸術家在外派遣研修員としてスイス・ローザンヌ音楽院でディプロマを取得後、オーストリア・モーツァルテウム音楽院、ドイツ・ミュンヘン音楽大学にて研鑽を積み、ドイツ国家演奏家資格を取得。在学中より国内外でリサイタルやコンサートに出演し、ソリストとして欧州、アジア、南米等でコンサートツアーを行っている。2023年には8月から11月にかけて、約3ヶ月間の南米&ヨーロッパツアーで20公演を行った。ミュンヘンでは旧バイエルン王宮内にあるヘラクレスザールにてモーツァルトの協奏曲をオーケストラをバックに演奏した。国内では、宮内庁主催皇居桃華楽堂での御前演奏会に出演、シャネル・ビッグマリオン・デイズ・アーティストに選出された他、サントリーホール、王子ホール等の主要なホールで公演を重ねている。使用楽器1683年製のニコロ・アマティは、世界の銘器を扱う数多くの本に収録されている名工の傑作である。これまでに、ニコラス・ミルトン、ヨルマ・バスラ、イヴァン・レブシッチ、フィリップ・ペラン等の指揮で、スイス・ローザンヌ室内管、フィンランド・クオビオ響、ドイツ・ホーフ響、チェコ・モラヴィアフィル、読売日響、日本フィル等と協奏曲を共演している。2007年チャイコフスキー国際コンクール(ロシア)最年少セミファイナリスト、2011年アンリ・マルト国際コンクール(ドイツ)ファイナリスト。2013年ヴァーツラフ・フムル国際ヴァイオリンコンクール(クロアチア)で優勝、オーケストラ賞。オルフェウス室内楽コンクール(スイス)優勝。2016年スピヴァコフ国際ヴァイオリンコンクール(ロシア)第2位。フランスや日本の作品によるデビューCD「Mai favorite」(キング)が2021年「ルドン、ロートレック展」(三菱一号館美術館)のオーディオガイドに採用されたほか、CD「アンリ・マルトー: 作品集第5集 - 24のカプリース Op.25」(ドイツ Solo Musica)に参加。日経ミュージックセレクションCDでは東響とベートーヴェン、マスネを収録した。

柏本佳央理 ピアノ

KAORI KASHIMOTO



大阪府出身。ミュンヘン在住。3歳からピアノを習い始め、YAMAHA専門コースにてピアノ、ソルフェージュ、作曲等を学ぶ。普通科高校を経て、大阪芸術大学を全学免除特待生として卒業。2013年より渡独し、ミュンヘン音楽・演劇大学大学院課程にて芸術学部ピアノ科及び現代音楽ピアノ科で研鑽を積む。在学中弦楽器とのアンサンブルも精力的に学び、ピアノトリオ「Azure」のメンバーとは第7回CoopMusicAwards第3位(イタリア)受賞など、ドイツ国内外でも活躍。現代音楽ではジョージ・クラム、ジョルジュ・アベルギス、ガリーナ・ウストヴォーリスカヤ、ミナス・ボルボウダキス等をはじめとする現代作曲家のレパートリーでも研鑽を積み、満場一致の最高点を得て卒業。第14回「長江杯」国際音楽コンクール第1位、及び中国駐大阪総領事賞受賞、第3回ハリナ=ツェルニー=ステファンスカ記念国際ピアノコンクール(ポーランド)Honourablement mention賞、2018年スタインウェイコンクール・ミュンヘン(ドイツ)第3位。これまでにB.ベトル・シャンスキー、I.レヴィット、G.ファウツ、P.パドゥラ=スコダ、E.タワチュルナ、M.キルシュネライト、W.マンツ各氏のマスタークラスを受講。これまでにピアノソロを上野敬子、鳥居知行、片山優陽、T.ベッケラー、A.シーララの各氏に、室内楽をウェン=シン・ヤン、F.ベルガー、M.ホルスングの各氏に師事。現在、ミュンヘン音楽・演劇大学付属バリエアカデミーで常勤講師としてピアニストを務める。2015年より非営利団体「LiveMusicNow」に所属し、病院や老人ホーム等で移動の困難を伴う人たちに生演奏を届ける活動を精力的に行っている他、幼稚園や小学校で、自作の音楽劇を通してクラシック音楽の可能性や面白さを伝える活動をしている。また、ウクライナ、ロシアをはじめとするミュンヘン児童合唱団伴奏ピアニスト、バイエルン国立歌劇場オーケストラ内にてチェレスタ奏者として客演するなど、幅広く活動している。



松岡 究 指揮

HAKARU MATSUOKA

指揮者小林研一郎、ヨルマ・バスラ、ランベルト・ガルデリに師事。1991年文化庁在外研修員としてハンガリーに留学。2004年よりローム財団の音楽特別研究員として3年間ベルリンにて研修。1993年より1996年まで新神戸オリエンタル劇場にて常任指揮者としてオペラ・コンサートをプログラミング・指揮。また1987年より2008年まで22年間東京オペラプロデュース指揮者を務め、その間に10作品以上のオペラの日本初演を指揮し、「極めてバランス感覚に富んだ逸材」「隠れたところに逸材ありき」などいづれも高く評価された。オペラのレパートリーは30作品を超え、また合唱・オラトリオ作品(ミサ・レクイエム等)にも造詣が深くその指揮は高く評価されている。2009年より2012年まで日本オペレッタ協会音楽監督兼常任指揮者、また2009年より東京ユニバーサルフィル専任指揮者、2012年9月より常任指揮者。2023年4月よりアマビレフィルハーモニー管弦楽団音楽監督兼常任指揮者に就任。

あなたの街にあります!「茨木市」のオーケストラ
アマビレフィルハーモニー管弦楽団

AMABILE PHILHARMONIC ORCHESTRA



当楽団は「若手演奏家にもっと演奏の場を」という思いのもと、株式会社アマビレ楽器の資金提供を受け、2015年7月1日に設立。以来積極的に演奏会を重ね、公演回数は既に400回を超える。2020年に公益社団法人日本オーケストラ連盟に加盟。公演実績だけでなく他方面からの様々な支持を得ることに加え、特に歴史を重んじるクラシック業界において、創立からわずか5年という異例の短期間で日本オーケストラ連盟に38番目のプロのオーケストラ団体として加入が認められる。地元茨木市を中心に幅広く演奏活動に取り組む。これまでに「定期演奏会」を15回、ソリストを主役を迎える「コンチェルトシリーズ」を20回、創設当初から根強いリピーターを獲得してきた室内楽コンサート「サロンコンサートシリーズ」を約200回、気軽にクラシックを楽しめる「ファミリーコンサート」も定期的に開催しており、各回ともに満席となっている。令和4年度より文化庁文化芸術による子供育成推進事業巡回公演事業に採択され、文化庁子どものための文化芸術体験再興事業と合わせ100公演以上を実施。茨木市を中心とした保育園、幼稚園、学校などの教育機関への有償訪問公演、高齢者施設への依頼公演なども積極的に実施。また地域へのボランティア活動として、茨木市を中心に無償にて子供向けの訪問演奏も積極的に行う。2020年より楽団YouTubeアカウントから積極的に演奏動画を発信しており、コロナ禍後の若い演奏家の演奏機会創出や、広い世代へのクラシック音楽の振興など、より広く楽団を周知する活動等に努めている。

全席自由

一般 3,500円 楽団会員 3,000円

※消費税込み ※未就学児入場不可

お問い合わせ・チケットご購入

アマビレフィルハーモニー管弦楽団事務局

TEL:072-648-5874(9:00~18:00)

E-MAIL:contact@amabile-philharmonic.com

Web site:https://amabile-phil.com/

公益財団法人茨木市文化振興財団・文化事業係

TEL:072-625-3055(10:00~17:00)

窓口:財団チケットカウンター

(クリエイトセンター1階/福祉文化会館3階)

茨木市市民総合センター
(クリエイトセンター)

センターホール

〒567-0888

大阪府茨木市駅前4丁目6-16

SNS



YouTube



Facebook



Instagram



X(Twitter)



TikTok

